

2017年度 国際港湾経営研修成果報告

サバンナ港のコンテナ港湾戦略



博多港ふ頭株式会社
新原 英俊



1. サバンナ港の概要

2. サバンナ港のターミナル運営

3. サバンナ港の将来計画

4. 考察

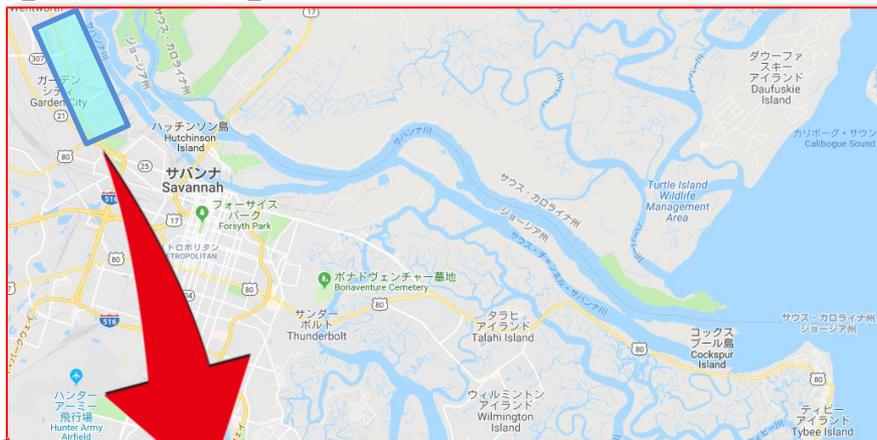


1. 1 サバナ港の位置

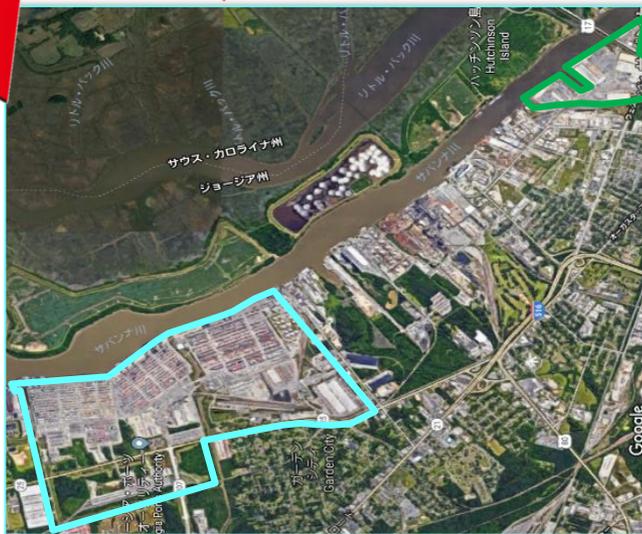
【ジョージア州】



【サバナ港】



【サバナ】



○オーシャンターミナル
主要取扱貨物
バルク／重機械／自動車

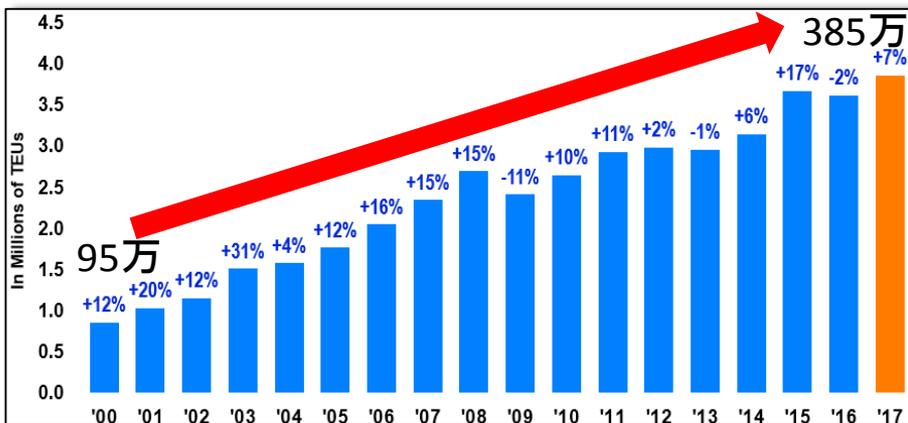
○ガーデンシティ
ターミナル(GCT)
主要取扱貨物・・・コンテナ



1. 2 サバナ港のコンテナ貨物

※年次は会計年度(前年7月より当年6月末)

【取扱量の推移】



【米国での取扱ランキングと10年間の年平均伸率】

PORT	FY2007 TEUs	FY2017 TEUs	10-YEAR CAGR
1. LOS ANGELES	8,649,751	9,205,753	0.6%
2. LONG BEACH	7,275,162	6,941,381	-0.5%
3. NY/NJ	5,280,658	6,440,341	2.0%
4. SAVANNAH	2,338,281	3,851,741	5.1%
5. SEA/TAC	3,120,938	2,998,582	-0.4%
6. VIRGINIA	2,039,293	2,762,410	3.1%
7. OAKLAND	2,357,027	2,399,785	0.2%
8. HOUSTON	1,614,901	2,332,803	3.7%
9. CHARLESTON	1,883,673	2,137,709	1.3%
10. PT. EV	931,063	1,080,077	1.5%
TOP TEN TOTAL	35,490,747	40,150,584	1.2%

【輸出入品目】(単位:万TEU)

輸 出		輸 入	
品目	数量	品目	数量
食品	20.3	消費材	28.5
木材パルプ	17.8	機械	21.8
紙製品	16.0	家具	21.0
消費材	10.0	自動車部品	17.4
粘土(壁材)	9.7	家庭用品	14.3

【輸出入別数量】(単位:万TEU)



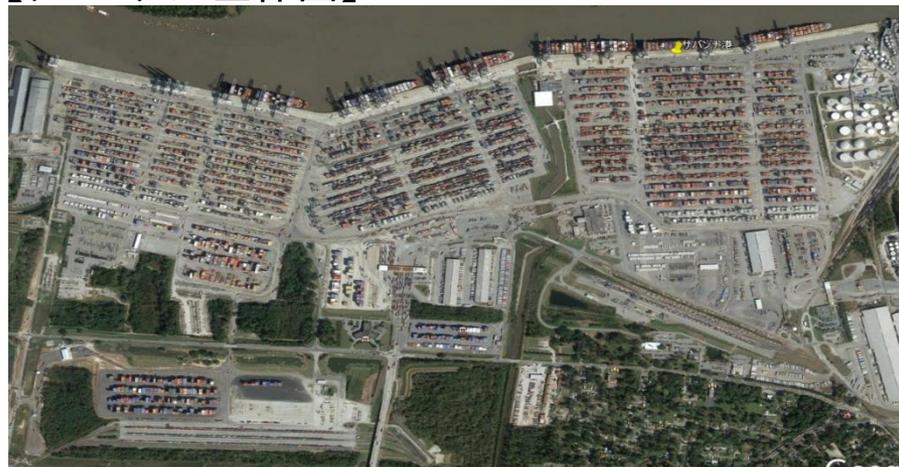


1. 3 GCTの施設概要

【ターミナル施設概要】

岸壁	岸壁数	9バース
	延長	2,955m
	水深	12.8m~14.6m
ガントリークレーン	26基	17列対応×6基 22列対応×20基
ヤード面積	485.6ha	
ゲート	3箇所	ヤード用2(24レーン) 空コン用1(6レーン)
リーファープラグ	2,496口	
RTG	146機	(内)電動40機
トップリフター	5機	
EMPTYスタッカー	27機	
フォークリフト	58機	

【ターミナル全体図】



【RTG用陸上給電設備】



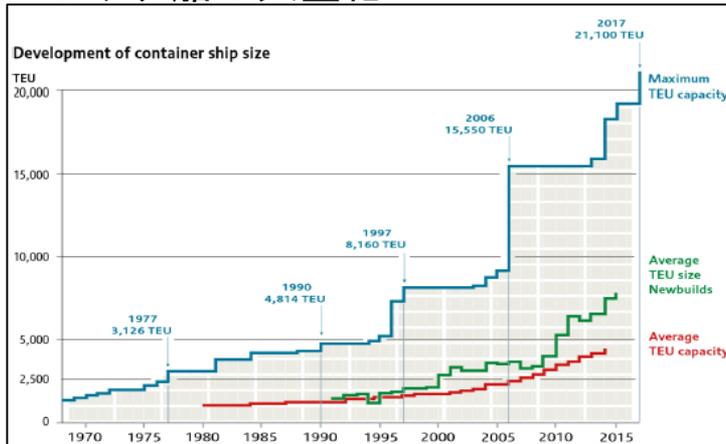
【RTG集電装置】



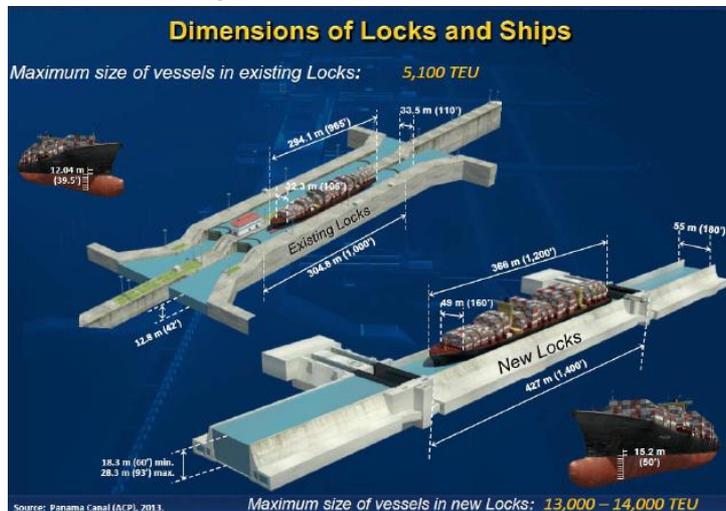
置き基礎

1. 4 施設拡充計画（航路）

コンテナ船の大型化



パナマ運河拡張工事（2016年6月完了）



【サバンナ航路拡張プロジェクト】

（SHEP:Savannah Harbor Expansion Project）



事業内容

河口より上流の水深を12.8m⇒14.3mへ
 河口から沖合の水深を14.9mへ

事業主体

陸軍工兵隊（河川及び海域は連邦政府管轄）

総事業費

9億7,300万ドル（約1,080億円（1ドル=111円））

負担：連邦政府75%，ジョージア州政府25%

連邦政府が事業主体になっていることや環境団体の反発などから、経済効果や周辺環境保全対策計画などに15年もの調査期間を経て、連邦議会の承認を得て着工。



2. 1 サバナ港のターミナル運営

1945年に州政府によりジョージア州港湾局 (Georgia Ports Authority: GPA) が設立。GPAによるコンテナターミナル (GCT) の運用開始以来、ターミナルの運営も直営で行なっているのが特徴。

【コンテナターミナル内の作業分担】

作業	GPA	港湾運送事業者
コントロールセンター	○	×
ガントリークレーン運転手	○	×
構内横持ちセミトレーラー運転手	×	○
RTG運転手	○	×
ゲート受付	×	○
コンテナメンテナンス	×	○
荷役機器メンテナンス	○	×

【船会社との契約】

コンテナターミナル運用開始当初は、利用船社も少なかった。



◆ 船社との契約は基本的に5年だが、船社希望でフレキシブルに対応

◆ 途中での寄港取りやめなどに対してペナルティ無し

◆ 契約船社に対して最低取扱量の規定無し



この方針は現在も継続中。
船社にとっては、使いやすい港となる

『雇用創出』

港湾局による直接雇用で地域経済へ貢献

2. 2運営における労働組合問題

【GCT従事者は全て非組合員】

ジョージア州では、労働権(RTW)法を制定しており、ターミナル従事者は全て非組合員となっている

【労働権(RTW)法とは】

労働者に対し、労働組合加入を拒否できる選択肢を与える州法

労働者・・・組合費負担無し
使用者・・・安定した操業環境
制定州・・・企業進出促進

『安定したターミナル運営』
船社及び荷主企業において
利便性が良い港と評価

【西海岸港湾の労使協定交渉】

2014年から2015年にかけて、西海岸港湾において、港湾労働組合と雇用者団体とで労使協定改定の交渉が行なわれたが難航。

労働組合側・・・スローダウン(怠業)を実施
雇用者側・・・ロックアウト(締め出し)を実施

- 10日間にも及び港湾機能停止
- 100隻以上もの沖待ち
- 1日約20億ドルもの経済損失



2. 3ターミナル背後地の戦略

【鉄道輸送の強化】

- ネットワークジョージア
インランドポート開発
(内陸輸送)
- GPA MEGA RAIL
オンドックレールターミナル
2社を接続

【ロジстикスパーク整備】

- 広大な背後地を利用した
整備
 - ・GPA(344万㎡)
 - ・サバナ経済開発庁(718㎡)
- 進出企業への優遇税制

【道路網の強化】

- 周辺道路改良
 - ・既存道路の拡幅
 - ・道路新設
- ハイウェイのIC改良
- ターミナルへのアクセス改善

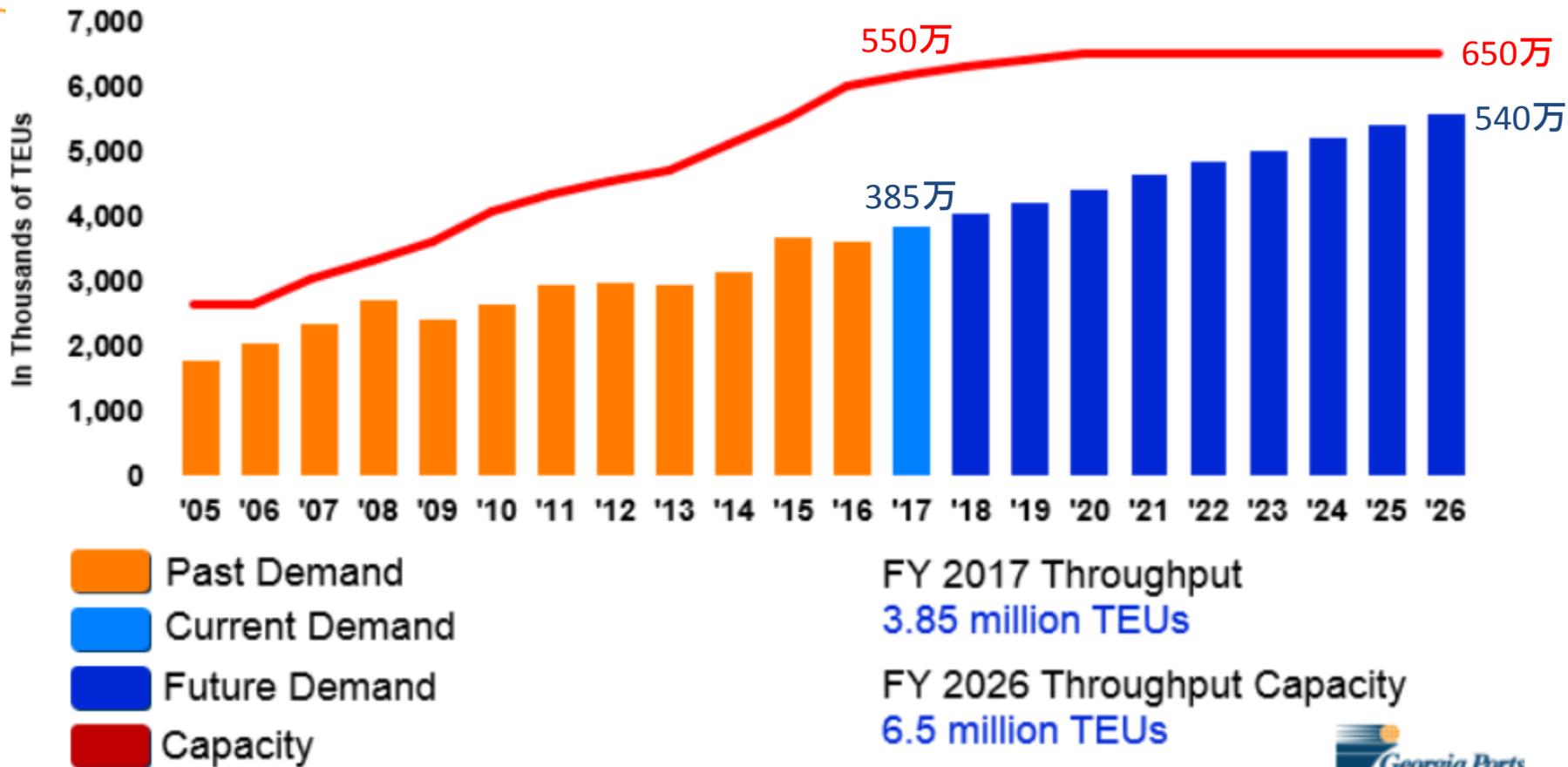
『創貨』、『集貨』戦略で
コンテナ取扱量増加！！





3. 1 今後の取扱量推移予想とキャパシティ

※年次は会計年度(前年7月より当年6月末)



FY 2017 Throughput
3.85 million TEUs

FY 2026 Throughput Capacity
6.5 million TEUs



Source: GPA Marketing (loads & empties)

荷役機器	現在	計画
ガントリークレーン	26基	36基
RTG	146機	169機



3. 2 既存施設増強計画

荷役機器の増強だけではなく、将来的には岸壁の延長とヤードの拡張を計画し、取扱いキャパシティを800万TEUまでに増強する施設改善を計画。





3. 3新コンテナターミナル計画

【Jasper Ocean Terminalプロジェクト】

既存コンテナターミナル 14, 000TEU型まで受け入れ可能。

だが...

既存コンテナターミナルのキャパシティ限界と入港コンテナ船大型化の可能性が予想される

そこで、

現在の航路維持浚渫と、SHEP浚渫土砂の処分場となっている場所を埋立地として
造成し、新コンテナターミナルを建設



- ジョージア州とサウスカロライナ州とで共同開発や運営の枠組みに関する合意書の取り交わし。
- 委員会を設置し、両州から3名ずつ委員を選出。
- フェーズ I として2030年までに40～50haで、岸壁が2～3バースのコンテナターミナル共用開始を目標。



4. 考察：博多港の課題とあり方

【現在】

- ①コンテナ船大型化対策
- ②最新でハイスペック施設で航路誘致
- ③航路誘致が集荷に繋がるといった考え
- ④計画目標に沿うだけの施設整備
- ⑤関係者が集っても要望を言うだけで、対策検討は担当部局で行なう

【課題】

- 船社への対応が第一になっており、物流や荷主企業への配慮が十分なされていない。
- 貨物増加時にターミナルが対応できても、周辺施設の能力がついていけない。
- 予算や業務縦割りの弊害で対策が思うように進まない。

【今後のあり方】

- ①ステークホルダーとの定期的な協議
- ②要望を言うだけ、対策を押し付けるだけではなく、その改善を行なうことで恩恵を受ける関係者で対策を実行できるような仕組みづくり。
- ③予測している取扱量によって起こりうる問題の事前掘り起こしのためのヒアリング



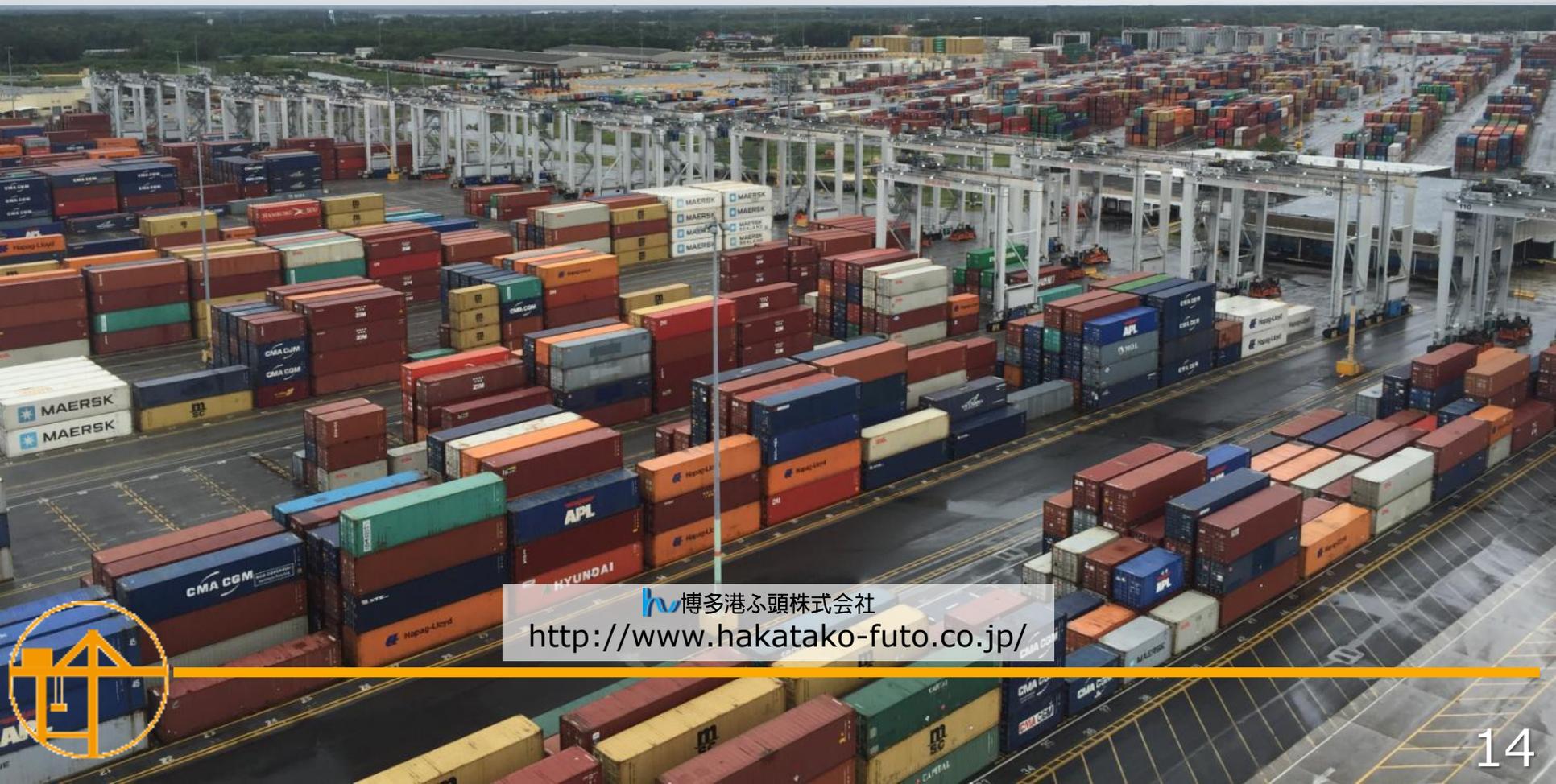
『荷主ファースト』
後背地も含めコンテナターミナルの
利便性が向上する事で集貨も可能
となる！



航路拡充も実現！



ご清聴ありがとうございました



 博多港ふ頭株式会社
<http://www.hakatako-futo.co.jp/>